指定管理者の評価に係る合議の概要

施設名	箕面市立多世代交流センター
指定管理者名	社会福祉法人ひじり福祉会
開催日	令和７年（2025年）1月10日（金）
開催場所	箕面市立多世代交流センター　2階会議室
合議の出席者	箕面市老人クラブ連合会　副会長　土井　淳子　氏 多世代交流センター利用者協議会　会長　杉田　和子　氏 民生委員児童委員協議会中小地区委員長　上原　茂　氏 稲東自治会会長　森　克二　氏

【概要】次頁のとおり

内容	令和７年１月１０日（金）に箕面市立多世代交流センター２階会議室にて、指定管理者にかかる合議を実施しました。その中で合議の出席者より以下のような意見がありました。 （１）施設について （合議出席者） 地域に開かれた活動の展開の箕面市社会福祉協議会が推進している「子ども食堂」「ささえあいステーション」に興味がある。 多世代交流センターで世代間交流できることに注視しているが、具体的な進捗状況はいかがか。 （指定管理者） 昨年から実施したかったが計画等が整理できていなかったので今年４月から 月１回で開催していきたいと考えている。多世代の交流は毎年の課題だったのでぜひ進めたいと思っている。 （合議出席者） 子ども食堂は多世代間の交流に繋がる。実際、食堂をどこでされるのか。 （指定管理者） 多世代交流センター内の食堂での実施を予定している。 （合議出席者） バスのダイヤが集中しているので分散するように改善してほしい。 （指定管理者） 他からも同じ意見は出ているが、１つの路線に２台で周回しており、１周２時間かかるため、２０分や３０分おきは難しいと聞いている。 （２）浴場について （合議出席者） お風呂の恩恵を受けることができるのは、多世代交流センターの近くの方だけではないか。 お金をかけてお風呂を再開するのであれば、利用料を支払う必要があると考える。 （高齢福祉室） 12月に利用者のかたに、お風呂の再開に関するアンケートを実施し、現在集約しているところである。 お風呂を再開するのか、指定管理者から提案があった足湯として再開なのか、どちらも必要ないのか、また、お風呂については、有料化についても意見を伺っており、年度内には集計結果が出る予定。 （指定管理者） 現場スタッフの意見として、お風呂の事故や衛生面などの対応に苦慮したことが多々あった。お風呂の再開にあたっては、利用者の安全面など特に配慮が必要で、その人材を確保できるのかも心配である。 （合議出席者） 公的な施設でお風呂をやっている市町村は他にあるのか。

	（指定管理者） 確認した範囲では、豊中市は８箇所あったが、５箇所は閉鎖したと聞いている。 池田市は多世代交流センターを作る予定で箕面市に見学に来館されたが、お風呂は作らないと聞いている。 （合議出席者） お風呂の運営は、多世代交流センターの職員がしていたのか。 職員がしていたのなら、仕事であっても厳しい。 アンケートには、再開したいと記入したが、職員の労力を考えると申し訳ない。 職員の人数を増えることが見込めれば再開もよいと思う。 （高齢福祉室） 必要経費の算定には、新たな職員分もを見込んでいる。 お風呂については、アンケートの集計結果等を踏まえ、今後、指定管理者と話を進めていきたい。 （３）総評 利用者アンケートの結果等から、施設運営について利用者からの評価は良好と判断します。 引き続き、地域のかたに周知広報を行い、新規利用者を増やすことはもちろん、多世代間の交流を今後さらに促進することを期待します。 アンケートの結果及び合議の意見からも総じて指定管理者として円滑な運営を行っていると市として評価します。